



日本共産党 北区議会議員

のの山けん 区政レポート

<https://ken-nonoyama.com/> mail@ken-nonoyama.com

No.665 2022.12.14

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は
お気軽に **090-2156-3510**

赤羽駅東口 再開発で

赤羽公園が なくなる？



現在進められている赤羽駅東口まちづくりで、赤羽公園の存続です。2015年に策定された「赤羽駅東口地区まちづくりゾーニング構想」では、赤羽小学校を「地域の拠点施設」と位置づけており、コロナ禍による中断後、今年度から再開した赤羽駅東口地区まちづくり全体協議会幹事会では、赤羽小のあり方をはじめ、将来のまちづくりについて一層具体的

な検討を進めることが方針となっています。5月から10月まで3回開かれた幹事会グループワークでは、「駅前再開発で教育環境に影響が出る赤羽小は赤羽会館や赤羽公園の位置に移してはどうか」との意見が出される一方、「赤羽小は現在の場所に存置すべき」との意見も出ています。年明けには、これらの意見をふまえて、協議会事務局である区が「まちづくり提案」をまとめることになっています。仮に、赤羽小を会館・公園の位置に移転するとすれば、赤羽公園がなくなることになり、高齢者や子どもなど公園を利用する区民に大きな影響が出ることは必至。駅前再開発の是非を含め、関係住民間で十分な議論が必要です。(のの山けん)

タワマン誘致ばかりのまちづくりで良いのか

北区では、駅前にタワマンションを呼び込む開発計画が目白押しです。十条駅西口では地上39階146メートル、578戸の再開発ビルを建設中。赤羽駅西口では学校跡地とUR用地の一体活用で、29階95メートル、553戸の超高層マンションを誘致する計画が示されました。タワマンばかりのまちづくりで良いのでしょうか。(のの山けん)



十条駅西口



赤羽駅西口

ストップ! 大軍拡

暮らしを押しつぶす

自民・
公明が
合意

軍事費 2 倍化
5 年間で 43 兆円
財源は増税で

自民・公明の両党は 2 日、歴代政府が「違憲」としてきた「反撃能力」= 敵基地攻撃能力の保有について合意。巡航ミサイル・トマホークの購入を念頭に、5 年間で総額 43 兆円もの大軍拡に突き進もうとしています。(のの山けん)

大軍拡と歴史の教訓

日露戦争後の第 1 次世界大戦をめがけての世界的軍拡も結局、いわゆる建艦競争という形で、日本が弩級(どきゅう)戦艦をつくると、他国も超弩級戦艦をつくるというふうに際限なくエスカレートしていく。軍拡競争は戦争への道を突き進んだだけで、決して平和をもたらさなかった。

軍拡は常に戦争の危機と背中合わせなんです。

明治大学教授
(日本近現代史)

山田 朗さん



岸田首相は 13 日の自民党役員会で、防衛費増額の財源確保に向け、「責任ある財源を考えるべきだ。今を生きる国民が自らの責任と

国民に責任を
なすりつけ

敵基地攻撃能力の保有は戦後防衛政策の根幹である「専守防衛」の大転換です。敵基地攻撃能力があれば、相手国の攻撃がない段階でも、相手国の領土への攻撃が可能となり、憲法違反は明白です。

とまで検討しています。財源云々ではなく、大軍拡こそやめるべきです。

実際に財源として、大企業の内留保や東日本大震災の復興特別所得税の増税・流用、自衛隊の施設整備の一部財源を国の借金で

禁じ手・流用、
手当たり次第

して、その重みを背負って対応すべきものだ」と、国民に負担を押し付ける露骨な姿勢を示しました。

どの国も排除せず 包み込む平和の枠組みを

アジア政党国際会議
志位委員長が発言

11 月にアジア 31 カ国、69 政党が参加するアジア政党国際会議が開かれ、日本共産党の志位和夫委員長が「他国を排除して包囲する排他的枠組みではなく、地域の全ての国を包み込む包摂的な平和の枠組みを」とスピーチ。会議は“平和の大道”を発信する宣言を採択しました。



アジア政党国際会議の総会で発言する志位和夫委員長